

●小児医療費助成対象、18歳まで拡大

2022年4月に小中学生の養育者の所得制限を撤廃しましたが、2023年10月からは入院・通院にかかる健康保険自己負担医療費の全額助成を18歳まで拡大しました。



●鎌倉高校前踏切道付近の交通誘導員配置を拡大

多くの観光客の来訪に対して近隣住民や通行の安全確保が必要であり、昨年9月より交通誘導員の配置を休日等だけではなく平日にも拡大しました。



また、鎌倉警察署は一定時間ではありますが警察車両を配備し、多言語で観光客に注意を呼びかけを行うとともに周辺への安全安心面を強化しています。



引き続き、マナー啓発や安全確保、不安解消へ向けた取り組みを進め、住民が住みやすさを実感でき、そして観光客にとっても満足度が高いまちを目指してまいります。



●津西二丁目の斜面本復旧工事が完了

土砂崩れが起きた崖は民有地であったため、崖については所有者に保全をお願いし、市では市道上の落石を取り除き、仮設の防護壁を設置する予定でした。しかし、保全措置がうまく進まない状況となったため、裁判所に仮処分の申立を行い、市が本復旧をやれる許可が下り、工事に取りかかりました。(費用について所有者に請求していく流れになっています)



復旧まで時間がかかってしまいご不安とご心配をおかけしましたが、崖地全体の安全対策工事が完了しました。



クリーン&ガーデニング大作戦

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分



腰越駅集合（雨天中止）

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。終了後、意見交換会も行っております。

☆スケジュール☆

- 第130回：1月20日
- 第131回：2月17日
- 第132回：3月16日
- 第133回：4月20日



ひなた新聞52号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾

活動レポート



1983年 6月 9日 生まれ (40歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校→腰越中学校→鎌倉高校
→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年 29歳で鎌倉市議会議員初当選。
2017年2期目の当選。2021年3期目の当選。腰越在住。

〈現在〉市民環境常任委員会委員、議会運営委員会委員長



●昨年10月に決算認定議案等を可決

今年度は一般会計歳入歳出決算等審査特別委員会の委員となり、令和4年度の決算認定に関する議案の審査を行いました。

令和4年度は「まちの未来はみずからつくる～ミライツクル予算～」とし、with コロナ時代の新たな生活様式の後押しと新たな時代を切り開いていく強い気持ちが込められた予算編成でした。特別委員会において各議案に対して質疑を行い、本会議で会派を代表して賛成討論を行いましたので、その内容と意見について記載します。

事業を着実に積み重ねていき、想定外の事態においても、柔軟な発想と対応に心掛け、未来への投資を含めて新しい取組みにチャレンジし、職員もチャレンジできる環境を整えて、市民の声にしっかりと応えられる業務の執行を切に願う討論を行いました。

住所：鎌倉市腰越3-23-7 連絡先：0467-32-5889

ホームページ：<http://www.hinata-kamakura.com/>

メール：hinata.shingo@gmail.com フェイスブック：日向慎吾

X(旧ツイッター)：[@HinataShingo](https://twitter.com/HinataShingo) インスタグラム：[@hinata.shingo](https://www.instagram.com/hinata.shingo)



討議資料

1月1日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被害を受けられた方々が一日でも早く日常生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

令和4年度はコロナ禍において市内経済の回復の後押しにつなげた「鎌倉応援キャッシュレスキャンペーン」や子どもたちが健やかに育つ環境の充実として「小児医療費助成制度の所得制限の撤廃」や「すべての市立小中学校の特別教室に冷暖房設備の設置」などに取り組み、また行政のデジタル化も着実に進みました。今後も市民生活の安全安心と暮らしやすさを実感できる具体策を講じていくため、委員会で特に残した意見について記載します。

行財政運営について

行政手続きのオンライン化やキャッシュレス決済の導入などを引き続き推進するとともに、デジタルデバイド解消への取り組みを実施し、市民サービス向上と業務の効率化につなげる運営を求める。

マイナンバーカードを利用した
コンビニ交付サービス
(住民票の写しなど)



市役所に来庁しなくても
できる手続き



観光振興について

観光客の分散化の取り組みとして運用している「鎌倉観光混雑マップ」について、今後はスポット数の増加やライブカメラ映像によるリアルタイム情報等さらなる拡充を求める。

過度の混雑やマナー違反によって、住民や環境に悪影響が及ぼないよう、観光振興と市民生活への影響緩和を両立して進める必要があります。

消防機能の充実について

市民の安全安心を支える消防職員は、24時間体制を維持しなければならず、そのための適正な人員を確保するためにも継続した採用が必要である。また、地域防災力の充実強化を図るためにも、消防団員への資機材の整備とともに研修等のオンライン受講など負担軽減を図り円滑な活動につなげようとする。



鎌倉観光混雑マップ



フレイル予防の推進について

健康づくりや介護予防にもつながるフレイル予防活動補助金については、さらなる周知を図り、3つの側面「身体的」「精神・心理的」「社会的」フレイルに対し、関係課と連携して事業の充実を求める。



ICT活用健康づくり事業の推進について

市民が主体的に健康づくりに取り組むことができるアプリを活用した健康ポイント事業について、健康の維持増進とともに医療費抑制効果も含めて、引き続き周知と事業を推進していくことを求める。

健康アプリ『kencom』
貯まったポイントで商品と交換
(ギフトカードなど)



人事評価について

職員の能力や意欲の向上、適正配置につなげるためにも資格取得や研修受講など能力開発を自ら行うことや成果に対して評価する制度構築し、さらなる市民サービスの提供していくことを求める。



中学校運営事業について

中学校の部活動について、教員の負担が大きいことは承知しているが、生徒の自由な選択ができる環境を整えるため国が示した地域移行の方針と合わせて、部活動を継続できる形での取り組みを求める。



委員長報告

各委員が残した意見の中で、全委員が一致した意見を
本会議で委員長が報告

「観光振興」と「消防機能の充実」については、委員会で全会一致となり、委員長報告に盛り込まれました。他に「高齢者の外出支援等の拡充」についてが盛り込まれ、「福祉サービスに関する予算及び人員などの体制の充実させた上で、多様性のある福祉サービスの充実」という旨の意見を付しました。